

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 11 月 19 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870102401		
法人名	有限会社ティーエムコーポレーション		
事業所名	グループホーム すみれの家		
所在地	松山市北斎院町1072-1	(電話)	089-905-6006
管理者	松田 和恵		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 10 月 8 日	評価確定日	平成 20 年 11 月 20 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 9 月 14 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 2 月 18 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	25 人
職員数	30 人	常勤 19 人, 非常勤 11 人, 常勤換算	24.5 人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	13,500 円	
敷金	有()円 ○ 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,000 円		

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 9 月 14 日事業所記入)

利用者人数	24 名	男性	8 名	女性	16 名
要介護 1	7 名		要介護 2	4 名	
要介護 3	4 名		要介護 4	4 名	
要介護 5	5 名		要支援 2	名	
年齢	平均 81.2 歳	最低 53 歳	最高	98 歳	

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	あり	指定認知症対応型通所介護
届出	あり	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは元社員寮を改装した2階建てで、住宅地の中にあり、近くに中学校がある。併設のデイサービスセンターがあるため玄関傍に事務所があるが、自由に入りできるようになっており、季節が感じられる職員の手作りの作品も置かれている。共用空間は建物をうまく利用し、家具やソファの配置も工夫している。管理者及び職員は理念に沿って利用者の日々の暮らしを支えている。利用者は自分のペースで自由に過ごしている。月2回訪問診療を受けており、終末期のケアも協力医療機関と連携をとりながら行う体制を整えている。ホームは町内会に加入しており、地域の一員としての役割を担いながら交流を深めている。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

理念については、職員は地域とのつながりが大切であることを理解しており、現在職員全員で話し合っている。地域との交流については、民生委員の協力を得て深まってきた。意見等の表出の工夫については、ユニットの入り口に意見箱を設置して対応している。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

管理者及び職員は評価の意義は理解しているが、今回の自己評価は各ユニット長が職員の意見を聞いて集約したことを管理者がまとめあげており、職員全員で取り組んでいるとまでは言えない。今後はサービスの質の向上のためにも職員全員で取り組むことが望まれる。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

運営推進会議が2か月に1回定期的に行われておらず、利用者及び家族や地域住民の参加人数も少ない傾向にある。会議内容はホームの行事報告が主となっており、活発な意見交換がされているとは言えない。会議を定期的に開催し、利用者及び家族、地域住民などが多く参加できるように働きかけてより多くの意見が聞ける場とし、出された意見をサービスの質の向上に活かせるような取り組みを期待したい。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

意見箱を設置しているが、意見は今のところない。家族の訪問時などに話を聞くよう心がけており、出された意見は職員で話し合っている。また、重要事項説明書にホーム及び公的な苦情相談機関を明記している。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

ホームは町内会に入会し、市民大清掃などに参加して地域の一員としての役割を担い、また運動会、盆踊り、祭りなど地域行事に参加して地域との交流を図っている。中学生の職場体験学習を受け入れており、利用者も楽しみにしている。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム すみれの家

(ユニット名) 根っこ

記入者(管理者)
氏名 松田 和恵

評価完了日 平成 20 年 8 月 31 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 地域の行事や催し物に参加し事業所独自の理念に従っている (外部評価) 開設当初からの理念を掲げているが、管理者及び職員は利用者が地域の中で暮らしていくことの大切さを理解しており、今の理念を具体的に分かりやすくするように職員全員で意見を出し合い、話し合っているところである。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 毎月一回のユニット会議で理念、目標をもう一度確認し取り組んでいる (外部評価) 職員も理念について理解しており、理念に沿ったケアに努めながら利用者の日々の暮らしを支えている。理念は各ユニットの入り口に掲示し、誰でも見ることができるようにしている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) グループホームの玄関に掲示し理念に沿った活動を記録に残し、ご家族へ手紙と一緒に送付する等している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 近隣の町内会での行事に参加するなどしている	※	今後気軽に立ち寄って頂けるようなオープンな付き合いが益々望まれる
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 町内会の大掃除、運動会、盆踊りなどに参加させていた だいている (外部評価) ホームは町内会に入会し、市民大清掃などに参加して地域の一員としての役割を担い、また運動会、盆踊り、祭りなど地域行事にも参加して交流を深めている。中学生の職場体験学習を受け入れており、利用者も楽しみにしている。	※	今後共進めていきたい
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議等を開催することにより情報を得今後に生かしている	※	ホーム内の方、又、地域の高齢者の方に役立つことがあれば今後共広げていきたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価は一部の職員になりがちであるが、結果については生かしていけるよう努力をしている (外部評価) 評価の意義は管理者及び職員とも理解してはいるが、自己評価については職員全員で取り組んでいるとまでは言えない。評価結果は全員に伝えており、話し合いを行い改善に取り組んでいる。また運営推進会議でも報告している。	※	評価を行うことは、現在のケアを振り返ることにつながる。またホームの質やサービスの向上のためにも自己評価を職員全員で取り組むことが望まれる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議では、地域の方、役員の方、ご家族の方と参加をして頂き、利用者さんの安全上の問題に重きをおいた取り組みをしている	※	今後共、良いご意見を頂き私達の取り組みに加えさせて頂きたいと考えている
			(外部評価) 運営推進会議が2か月に1回定期的に行われておらず、利用者及び家族や地域住民の参加人数も少ない傾向にある。会議内容はホームの行事報告が主となっており、活発な意見交換がされているとは言えない。	※	定期的開催し、利用者及び家族、地域住民などが多く参加できるように働きかけてより多くの意見が聞ける場とし、出された意見をサービスの質の向上に活かせるような取り組みを期待したい。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 研修会には参加している		行き来する機会を多く持ちサービスの質の向上に取り組んでいきたい
			(外部評価) 分からないことなどを問い合わせたり、疑問点や利用者のことについて相談しており、情報提供も行うなど、連携に努めている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会や説明会に参加し学ぶ機会をもっている 現在、活用している利用者はいない		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修会に参加し学び防止に努めている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分な説明を行っている		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 窓口を設け担当者が対応にあたるようにしている 職員からの報告で皆で話し合い対応にあたるようにしている		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月、請求書と一緒に近況報告、ユニット通信を同封、報告している (外部評価) 毎月の請求書と共に、担当の職員が利用者の日々の暮らしぶりを書き、ホーム便りと一緒に送っている。状態の変化や緊急時などは電話連絡することもある。金銭管理については家族の訪問時に報告したり、遠方の家族には郵送で報告している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご家族は、管理者や職員に意見と不満を言い易い環境にあり、それに応じ運営に反映できるよう努力している (外部評価) 意見箱を設置しているが、意見は今のところない。家族の訪問時などに話を聞くよう心がけており、その時に出された意見は職員で話し合っている。重要事項説明書にホーム及び公的な苦情相談機関を明記している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ミーティングとユニット会議等において又、週一度管理者会議において建設的な意見や提案を反映させていく		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 体調や精神面の変化に伴い柔軟な対応に心がけている 緊急時は職員の増員をしている		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) そのように努力している (外部評価) 離職や法人内での異動はあるが、他の職員が利用者に不安を与えないよう配慮している。新しい職員に対しても、利用者へ不穏にならないよう、顔馴染みの職員がその都度フォローして気をつけている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修会や講習会の参加ができるようにしている (外部評価) 研修への参加は、本年度より有休や自分の休みを利用して自己負担での参加となっており、参加は少ない傾向にある。また受講後の報告書提出はなく、研修内容は参加した本人が伝える場合と伝えない場合があり、共有されているとは言えない。	※	職員の質の向上のためにも、研修についての計画を立て、積極的に参加できるような配慮が望まれる。また、研修内容の報告は職員全員で共有することを望みたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 努力している	※	今後共益々取り組みに努力していく必要がある
			(外部評価) 同法人のグループホームとの交流があり、またグループホーム連絡協議会や地域包括支援センターのグループホーム交流会には参加している。他のグループホームから見学などに来たことはあるが、勉強会などの交流機会はない。	※	同業者との交流や連携はホームや職員の質の向上のためにも必要であり、積極的に学習会や研修会などの機会を作ることを期待したい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 月末に組むシフトについては希望を取り入れ不平不満が出ないように注意している。休憩が決まって取れない職場であり少し空いた時間に一呼吸できるスペースを作っている		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) ユニット長からの報告や勤務中の様子を確認しアドバイスや指導にあたっている		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前面接を行いご意見を伺い入所後はご本人が安心して生活できるよう環境作りをしている		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前面接でゆっくり話をする様にしている。それによって得た情報は入所後いかにするように職員に申し伝え、実行できているかどうか管理者が確認している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 必要とされるサービスの利用をして頂く		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 事前に見学して頂き居室には馴染みの家具を持ち込んでいただき安心して生活してもらえよう配慮している (外部評価) 本人が入居前にホームを見学するケースは少ないが、同法人のデイサービス利用からホームに入居することもある。また、病院や他施設から直接入居する場合にはホーム側から利用者を訪問したり、家族にホームの見学などしてもらっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 食事の準備を一緒にして頂く不要になった布で雑巾などを作って頂くなど日常的な事を共にしてもらっている (外部評価) 職員は日々一緒に過ごす中で、利用者の得意な分野を教えてもらったり、学ぶことも多くあり、お互い支えあう関係作りに努めている。また、利用者に声をかけて手伝ってもらうこともあり、裁縫の得意な人には雑巾を縫ってもらうなどしている。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 運営推進会議に参加していただく、又、一緒にお出掛けに参加して頂くなど関係を築いている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) お出掛けや誕生会などの催し物に参加してもらいなどより良い関係が保てるよう支援している		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 馴染みの場所や知人の方が来て頂けるよう支援している		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 努力している		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) できていない	※	今後必要な取り組みとして努力していく
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) カンファレンスにおいて本人と家族から聞き取り記録するようにしている (外部評価) 日々の暮らしの中で本人に声をかけて話を聞いたり、家族からも情報を得て、一人ひとりについてカンファレンスなどで話し合っ把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所前面談において詳しく把握、記録し、サービスに反映させるべく努力している		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 入所前面談において記録、問ts、その後の変化等、把握していき記録している		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 3ヶ月ごとに介護計画を新しく作成しているが職員全体で取り組みミーティングした結果を盛り込みご家族の了解の下で最終決定として介護に反映させている (外部評価) 本人に聞いたり、家族の訪問時に希望を出してもらい、職員の意見も採り入れて介護計画を作成している。介護計画は家族に説明を行い、遠方の家族には郵送して意見を聞いている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 介護計画は変化が生じた場合はその度現状に即した状況中で新計画を立てている (外部評価) 月1回カンファレンスを行い、評価もしている。定期的な見直しの他に、利用者の状態の変化に応じてその都度見直しを行い、新たな介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 介護計画に日々の様子を記録し見直しに活かしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 音楽療法など専門の方に来てもらい受けている (外部評価) 利用者がかかりつけ医を受診する際には職員が通院介助を行っている。また、デイサービスセンターの利用者と一緒に行事を行い交流することもある。	※	新しい取り組みができると良いと思う
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 運営推進会議を通じて地域資源との協働ができている	※	協力機関が増えるようにしていきたい
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) サービス事業者との話し合いにおいて支援されている		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議のメンバーになって頂いており協働している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 最後まで生活して頂けるよう対応する。終の棲家となるよう取り組んでいる		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 別の住居へ移り住む際は十分な情報交換を行っている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 居室はプライバシーを守れるようになっており、言葉かけや対応にも注意している。又、個人情報の取り扱いにも気を配っている (外部評価) 職員の言葉かけや態度などは、その都度互いに注意しあっている。個人情報については職員の離職時や法人内の異動時にも他には漏らさないように取り決めている。記録は管理者の部屋においてあり、適切に管理している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 自己決定ができていく方の対応には苦慮しているが、ご本人が笑顔で暮らせるような支援をしている	※	努力すべき問題であり取り組みをしていきたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一日の時間の流れの中での生活になってしまいがちだが、あまり無理強いをしない生活をして頂いている (外部評価) 職員は本人にその日何をしたいか希望を聞いたり、本人の体調などにも配慮して支援している。入浴などできるだけ本人の希望に合わせている。利用者はそれぞれ自分のペースを守っており、思い思いに自由に過ごしている。	※	今後も身体的に変化がなければ基本的にその方のペースに合わせていきたい
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 近くの美容室から来てもらい女性の方はカットをして頂き男性は資格を持っている介護師がカットしてくれている。ご家族が外の理容室へ連れて行く方もある		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事作りの好きな方には手伝っていただき助かっている。 食材を切る、食材を片付ける等して頂いている (外部評価) 職員は、利用者にてできることを手伝ってもらいながら、一緒に食事の準備、後片付けなどしている。同じテーブルで会話を楽しみながら食事をし、サポートが必要な利用者には横に座り介助している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 出入りの八百屋さんで好みの物を注文することが可能でされることがある。ご家族が面会時持ってこられている	※	腹を壊す等のが見られ量はある程度検討させて頂く必要がある

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 介護記録によりパターンの把握ができておりトイレでの排泄を促している。それが不可能な場合、服薬をして頂く		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入浴は週②～3回午後としているが最終決定は個人である (外部評価) 利用者一人ひとりチェックし、2～3日に1回は入浴できるように支援している。入浴を拒否する利用者には、言葉かけなどを工夫している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 夕食後それぞれに居室へ戻って頂くが自立されている方はその後の時間もゆっくり使い休まれている	※	介助の必要な方も見たいテレビ等ご希望が表現できるよう気配りをしていきたい
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 職員の手助けをして頂く。洗濯物を干す、片付けるなどして頂いている (外部評価) 利用者は、習字、ぬり絵、学習プリント、囲碁、卓球、編み物、ゲーム、カラオケを楽しんだり、職員と一緒に掃除をしたり、洗濯物を干したりたたんだりするなど役割を担っている。また、デイサービス利用者との交流やユニット毎の行事もある。	※	今後、生活歴を活かした楽しみごとなど支援できるようにしていきたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お金の管理は無理な方が多いがお出掛け時などの買い物は職員が共にし間違いのないよう支援している		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 天候の良い日を見計らって外出などの支援をしている (外部評価) 月1～2回は外に出かけられるよう行事を計画している。また、利用者の希望で車で買い物に出かけたり、天候の良い日には近くの公園に散歩に出かけている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 月2回程度の遠出を計画していき弁当を持参する等楽しんで頂けるよう支援している		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望通り何時でもできるよう支援している		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 他の利用者さんの迷惑にならない時間帯ならいつでも訪問して頂ける		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) ベッド柵など抑制に対する正しい理解はされており拘束をしないケアへの取り組みができています		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 居室やユニット入口の鍵をかけることは無い (外部評価) 1階にはデイサービスセンターがあり、玄関は鍵をかけていない。玄関脇には事務所があり、出入りがよく見えるようになっている。いつもではないが、利用者の安全を考えて2階の出入り口に鍵をかけることはある。	※	徘徊が激しい利用者さんがいる場合入口はやむを得ず施錠することあり
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 昼夜を通して利用者さんの安全、様子を把握している		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者さん一人ひとりの状態に応じた危険を防止するべく取り組みはできている		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 足元の弱っている方についてはご家族にセンサーマットを用意して頂くなどし事故防止となるよう取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急対応マニュアルがありそれに添っていく。また、訓練も行い講習を受けた	※	今後も定期的に勉強していく必要がある
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 運営推進会議を通じ協力が得られるように働きかけている	※	今後も避難の方法等、考慮していく必要がある
			(外部評価) 5月に消防署の協力を得て避難訓練を行い、年内にもう一度行う予定であるが、避難訓練が定期的に行われておらず、まだ地域との協力体制はできていない。緊急連絡網は整備している。	※	防災訓練は夜間も想定して定期的に行うことが望まれる。また、地域に災害時の協力を働きかけていくことを期待したい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 一人ひとりの利用者さんが快適な暮らしをして頂く中でも事故発生のリスクはあること、年齢と共に高くなっていく事は、面会時などでお話している		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝のバイタルサインチェックをしている。変化のある時は医師や常勤の看護師に報告、対応している		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬表のチェック、介護記録への記入をし変化のないことの確認、用法、用量の理解をしている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 十分な水分の摂取をして頂く事はもちろん適度な運動も取り入れていく。緩和されない場合、医師の指示を受け服用をして頂く	※	運動不足になりがちであり取り組んでいきたい
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後は義歯の洗浄、口腔ケアをしていく。自立されていない方が多い中でその後のチェックが必要である	※	夕食後の口腔ケアは全員徹底していきたい
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養のバランス、水分量と概ねできていると思う (外部評価) 献立は本部の栄養士が作成したものを基にホームで工夫して立てており、利用者の希望で変更することもある。食事摂取量は記録し、水分量は配慮が必要な方は記録して把握し、必要な方には栄養指導も行っている。また、利用者に合わせて調理方法を工夫して刻み食やとろみ食にしている。	※	データを取っているわけではなく概ねであり、細かいもを取ってみる必要がある
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 毎年、予防接種を全員の利用者さんが受けている。食前の手指の消毒、トイレの後の手洗いを実行している	※	外出から帰った後の対応など今後も注意を要する
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 生物の後お処理として、調理用具の洗浄、除菌、熱処理に注意し実行している。安全な食材保管に注意している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 季節の草花を植える。玄関のドアは開放し出入りしやすい工夫がある		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 壁にはお出掛けの写真や季節ごとの折り紙や花など飾りつけてある。照明も程よい明るさがある。廊下も明るく広い空間となっている (外部評価) 元社員寮であったため廊下などはあまり広くないが、居間は各ユニット毎に家具やソファの位置も工夫して配置している。壁には季節を感じさせる飾り付けがされている。畳が置かれたユニットもあり、利用者はそれぞれ思い思いの場所で自由に過ごしている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングにはテレビがありゆったり見ながら寛げる。又、廊下には2箇所ソファがあり親しく語らう場所となる		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 利用者さんの馴染みの家具が持ち込まれており、今までの物に囲まれて、又、新しい生活にも馴染んで頂いている (外部評価) 居室は元社員寮であったため流し台がそのまま残され、お湯も出るようになっており、冷蔵庫も設置されている。部屋の中は畳敷きの部屋も多くあり、家庭で使用していた家具やテレビ、好みの物等が持ち込まれている。個性に合わせた飾り付けもあり、過ごしやすように工夫されている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 常に玄関は開放されることができ空気の淀みは無い。体調に応じて湿度調節しており外気温との差も無いよ注意している		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 壁には手摺があり、トイレ、風呂にも手摺が付いている		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) トイレ、風呂、居室には目印をつけ一目でわかる工夫をしている		
87		○建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 建物の外には草花を見て楽しむようプランターに育てられている。ベランダ側には畑があり、野菜を育てることができる	※	他のユニットは菜園を利用し作っているのので種物を蒔くなど育てていきたい

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者さんのレベル低下があり、入退院を繰り返されるなどし掴みきれない点もある
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	1 毎日ある (自己 ② 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	午後より入浴のない日を作りゲームをする、お八つを作るなどゆっくりおしゃべりをしながらおやつを作る。又、楽しくゲームをするなどしている
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	夜、巡回の度に休まれていなかった方には朝寝をして頂く。又、入浴拒否などある場合は余り無理強いをしないでご本人のペースで次の日にして頂くなどしている
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	言葉かけに注意し目線を下げてお話していく、ゆっくりしたトーンにするなどしているがそのときどきで良い表情が見られる時、そうでない時がある
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	1 ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	涼くなれば外への散歩もして頂くが、職員が人数を満たしている中での実行となる
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	2週毎の訪問診療を受け、又、ご家族対応で受診をされる等、健康管理、安全面と不安なく過ごされている
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者さんのレベル低下等があり、ある程度の支障はきたされるものの要望をお聞きすることなど支援はできる
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	1 ほぼ全ての家族と (自己 ② 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	利用者さんの事とご家族の不安事など話すことのできる関係作りができていますが全員とは言えない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	1 ほぼ毎日のように (自己 ② 数日に1回程度 評価) 3 たまに 4 ほとんどない	ご家族の訪問はよくある

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大に増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議以前に比べると外であいさつなどして下さる方が増えてきた
98	職員は、生き活きと働いている	(自己 ① ほぼ全ての職員が 評価) 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	改善すべき点はお互いに意見を出し合って話し合い良い環境作りを心がけている
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個人によって異なると思われるが全員の方の満足が得られるよう支援している
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての家族等が 評価) ② 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会の時、ご不満については指摘されることもあるがほぼ解消に向けており、概ね満足されていると思う

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

当グループホームでは毎週1回、専門の音楽教師が来所。音楽を通じて全身の運動をし体力のアップ、レベルアップを計る。又、声を出して唄うことで脳の活性化にもつなげていく。又、食材は毎日や親より新鮮なものが届けられ、栄養豊かなメニューは毎週組み立てられて、日々おいしく味わって頂ける様工夫している。個人の好みを取り入れることができる。グループホームならではの利用者さんとの濃い話ができる。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム すみれの家

(ユニット名) 葉っぱ

記入者(管理者)
氏名 松田 和恵

評価完了日 平成 20 年 9 月 10 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 人間らしく生きるがホームの理念であり、利用者を人生の先輩として敬い人間らしく過ごしてもらっている。 (外部評価) 開設当初からの理念を掲げているが、管理者及び職員は利用者が地域の中で暮らしていくことの大切さを理解しており、今の理念を具体的に分かりやすくするように職員全員で意見を出し合い、話し合っているところである。	※	職員全員の意見を取り入れ地域密着型サービスとしての理念を現在すみれ会全体で検討している最中である。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 職員や利用者、外部の方にも見やすい場所に掲示している。ミニミーティングの場で話し合い取り組んでいる。 (外部評価) 職員も理念について理解しており、理念に沿ったケアに努めながら利用者の日々の暮らしを支えている。理念は各ユニットの入り口に掲示し、誰でも見ることができるようにしている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 入居時の説明に盛り込み訪問者が見やすい位置に掲示している。運営推進会議でも話題に盛り込むよう努めている。	※	

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 通りがかりに立ち寄ってくださったり、挨拶を交わしたりできる関係が徐々に増えてきた。近くの公園へ散歩に行く子供達がボール遊びに誘ってくれたりもする。	※	ユニットへ来頂きお茶でも飲みながら世間話ができる気軽に立ち寄れる家にするのが今後の望みである。
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会、町内会には時間の許す限り参加し市民大清掃、盆踊り会、運動会など地域活動には参加している。 (外部評価) ホームは町内会に入会し、市民大清掃などに参加して地域の一員としての役割を担い、また運動会、盆踊り、祭りなど地域行事にも参加して交流を深めている。中学生の職場体験学習を受け入れており、利用者も楽しみにしている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 実施できていない。	※	運営推進会議では地域の方と話し合う機会があったが実際に取り組むまでには至っていないため、今後検討していきたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 意義は理解し評価は生かしているが、職員全体には浸透していない。 (外部評価) 評価の意義は管理者及び職員とも理解してはいるが、自己評価については職員全員で取り組んでいるとまでは言えない。評価結果は全員に伝えており、話し合いを行い改善に取り組んでいる。また運営推進会議でも報告している。	※ ※	評価を活かして具体的な改善に取り組むよう職員間で努力したい。 評価を行うことは、現在のケアを振り返ることにつながる。またホームの質やサービスの向上のためにも自己評価を職員全員で取り組むことが望まれる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 地域の方々から頂いて意見を元に改善するよう努力している。	※	参加者の意見を元にホーム内の改善点を改善するように見直している。
			(外部評価) 運営推進会議が2か月に1回定期的に行われておらず、利用者及び家族や地域住民の参加人数も少ない傾向にある。会議内容はホームの行事報告が主となっており、活発な意見交換がされているとは言えない。	※	定期的に開催し、利用者及び家族、地域住民などが多く参加できるように働きかけてより多くの意見が聞ける場とし、出された意見をサービスの質の向上に活かせるような取り組みを期待したい。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) グループホーム連絡協議会に交代で参加し交流を持っている。	※	更に交流を深めたい。
			(外部評価) 分からないことなどを問い合わせたり、疑問点や利用者のことについて相談しており、情報提供も行うなど、連携に努めている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) セミナーなどに参加し多少は理解しているが現在は対象者がいない。	※	必要時に適切な待望や、アドバイスができるよう学ぶ機会を多く持ちたい。
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) セミナーに参加したり、職員間でも話し合い防止に努めている。	※	今後さらに学ぶ機会を持ちたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には双方で文面を見て確認し時間をかけて理解、納得していただくよう努めている。	※	利用者側が十分に理解し納得するよう働きかける。
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 契約時に苦情などの窓口になる職員や機関を明確に伝え、対応に努めている。	※	利用者が意見やふまを、苦情をがオプに表せる機会を設けたい。
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月15日付けでご家族へ通信を送付、暮らしぶり健康状態をお知らせしている。 (外部評価) 毎月の請求書と共に、担当の職員が利用者の日々の暮らしぶりを書き、ホーム便りと一緒に送っている。状態の変化や緊急時などは電話連絡することもある。金銭管理については家族の訪問時に報告したり、遠方の家族には郵送で報告している。	※	今後益々充実させていきたい。
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 職員間で話し合い対応に努めている。 (外部評価) 意見箱を設置しているが、意見は今のところない。家族の訪問時などに話を聞くよう心がけており、その時に出された意見は職員で話し合っている。重要事項説明書にホーム及び公的な苦情相談機関を明記している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) できている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 必要がある時の調整はできている。	※	継続したい。
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 利用者の都合により法人内の事業所への移動には馴染みの職員も一緒に異動させている。 (外部評価) 離職や法人内での異動はあるが、他の職員が利用者には不安を与えないよう配慮している。新しい職員に対しても、利用者が不穏にならないよう、顔馴染みの職員がその都度フォローして気をつけている。	※	馴染みの職員間で支援できるようにしていきたい。
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修への参加を常に呼びかけている。 (外部評価) 研修への参加は、本年度より有休や自分の休みを利用して自己負担での参加となっており、参加は少ない傾向にある。また受講後の報告書提出はなく、研修内容は参加した本人が伝える場合と伝えない場合があり、共有されているとは言えない。	※ ※	研修への参加の呼びかけに職員も意欲を見せている。更に進めていきたい。 職員の質の向上のためにも、研修についての計画を立て、積極的に参加できるような配慮が望まれる。また、研修内容の報告は職員全員で共有することを望みたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 法人内の他の事業所との交流はあるが他に事業所との交流は少ない。	※	地域の事業所からの見学や相談が徐々に増えてきた。更に交流を深め今後役に立っていききたい。
			(外部評価) 同法人のグループホームとの交流があり、またグループホーム連絡協議会や地域包括支援センターのグループホーム交流会には参加している。他のグループホームから見学などに来たことはあるが、勉強会などの交流機会はない。	※	同業者との交流や連携はホームや職員の質の向上のためにも必要であり、積極的に学習会や研修会などの機会を作ることを期待したい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 個々に悩みを聞き解決できるように努めている。	※	更に、ストレス軽減に向けた工夫や環境作りに取り組むたい。
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 職員の勤務状況を把握し向上心を持って働けるよう努めている。	※	話す機会を多く持つよう努めている。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) フェースシートを作成し本人自身と話す機会を多く持つようにしている。	※	今後も本人が求めていることに早く気付くよう注意を向けていく。
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 話し合いの場を持ち努力している。	※	話す機会を多く持つよう努めている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) できている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 体験入居を行っている。 (外部評価) 本人が入居前にホームを見学するケースは少ないが、同法人のデイサービス利用からホームに入居することもある。また、病院や他施設から直接入居する場合にはホーム側から利用者を訪問したり、家族にホームの見学などしてもらっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 今までの生活歴を活かした生活を送って頂けるよう折に触れ役立てている。 (外部評価) 職員は日々一緒に過ごす中で、利用者の得意な分野を教えてもらったり、学ぶことも多くあり、お互い支えあう関係作りに努めている。また、利用者に声をかけて手伝ってもらうこともあり、裁縫の得意な人には雑巾を縫ってもらうなどしている。	※	今後も支えあう関係を大切にしていきたい。
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) お出掛けやホーム内のイベントにも参加を呼びかけご家族に協力をお願いしている。	※	今後も続けて生きたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) できている。	※	更に、コミュニケーションを取れる機会が増えればいいと考える。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 市内に住む家族や知人からの訪問や、連絡を受け入れ、支援に努めている	※	入所前の知人からのプレゼントやお手紙が続くよう近況を知らせる支援をしていきたい。
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 一緒に外出する機会を持ったり希望があれば入院中の利用者のお見舞いに同行したり関わりを持つよう努めている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 相談に乗ったりし関わりをもっている。	※	続けていきたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 入居時に十分に話し合い希望や意向に沿った介護が出来るよう日々職員間でも話し合っており、ミーティング用紙に記録を残し今後役に立っている。 (外部評価) 日々の暮らしの中で本人に声をかけて話を聞いたり、家族からも情報を得て、一人ひとりについてカンファレンスなどで話し合っており把握するよう努めている。	※	さらに話す機会を多く持つよう努め本人の希望に添えるようにしたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) できている。	※	継続したい。
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 日々の生活の中で把握し職員間でも伝達していくようにしている。	※	気付きの介護が出来るよう職員も向上心をもっていきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) できる限り、本人、家族、必要な関係者と話し合い意向や意見を取り入れ介護計画を作成している。 (外部評価) 本人に聞いたり、家族の訪問時に希望を出してもらい、職員の意見も採り入れて介護計画を作成している。介護計画は家族に説明を行い、遠方の家族には郵送して意見を聞いている。	※	本人を交えての話し合いが少なく今後の課題である。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 計画の時期に応じて見直しを行うと共に対応に変化の必要性を認めた場合は修正を行っている。 (外部評価) 月1回カンファレンスを行い、評価もしている。定期的な見直しの他に、利用者の状態の変化に応じてその都度見直しを行い、新たな介護計画を作成している。	※	介護保険の更新にあわせた計画の立案を実践していきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の様子やケアの実践、結果をその後の実践や計画の修正に活かせるよう個別記録に記入し情報の共有に努めている。	※	気づきや工夫はあるが職員間に浸透していくよう努めたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 施設内に併設のイベントに参加したり音楽療法、口腔ケア指導などを活用している。 (外部評価) 利用者がかかりつけ医を受診する際には職員が通院介助を行っている。また、デイサービスセンターの利用者と一緒に行事を行い交流することもある。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 避難訓練に参加してもらったり、近くの中学生の体験学習を受け入れ、楽器演奏会などにも招待をもらっている。	※	
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) できていない。	※	今後行っていきたい。
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) できていない。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 訪問診療が月2回あるが、希望があり必要と思われる時は専門の医療機関へ受診している。 (外部評価) 協力医療機関の医師がかかりつけ医の利用者も多いが、本人及び家族の希望の医療機関を受診している。受診には職員が付き添っており、利用者の状態把握をしている。また月に2回、協力医療機関の医師が往診に来ている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) できている。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 各ユニットに1～2人の看護職員を配置し協力医療機関と連携をとりながら支援している。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院中は機会を作って面会に行き病院関係者と情報交換をおすすよう努めている。退院前のカンファレンスにはご家族に同意の元ユニット長と管理者が参加している。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化した場合や終末期のあり方について状態を見極めて早期より家族、主治医と話し合い方針を共有している。職員間の話し合いも同時に進め、機会があれば研修への参加も呼びかけている。 (外部評価) 重度化や終末期に向けた指針を定めており、本人及び家族の希望があれば看取りを行う体制となっている。入居時に説明を行い、状態の変化に応じてその都度家族や医師等と話し合いを持ちながら対応している。まだ重度化や終末期のケアはホームとしては経験がないが、看取りを経験した看護師がホームにいるため、経験を活かせるよう体制を整えている。	※	本人を交えての話し合いが少なく今後の課題である。
				※	現時点では重度化や終末期の対応が必要ではない場合でも、本人及び家族、医療機関、職員などで話し合いを行い、対応方針の共有化を図ることを期待したい。また、職員の教育も望まれる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 日々の話し合いや研修への参加により心構えや支援策を講じている。	※	経験が少なく不安の方が先行しているため十分な支援ができるかどうかは疑問であるが医師と看護職とで職員を支えるチーム作りに取り組みたい。
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 情報交換を充分に行い事前に見学も行いダメージを少なくするよう努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 言葉かけや対応に気を配りプライバシーを損ねないように努めている。 (外部評価) 職員の言葉かけや態度などは、その都度互いに注意しあっている。個人情報については職員の離職時や法人内の異動時にも他には漏らさないように取り決めている。記録は管理者の部屋においてあり、適切に管理している。	※	忙しい中不適切な言葉掛けがあったら職員間で注意しあう関係を深めていきたい。
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) ゆっくりと分かりやすい説明を心がけ、話を聞く機会を持つよう努めている。	※	納得していただけるよう支援していきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりのペースを大切にし決まりや都合を優先してはいないか問いながら可能な限りの支援に努めている。 (外部評価) 職員は本人にその日何をしたいか希望を聞いたり、本人の体調などにも配慮して支援している。入浴などでもできるだけ本人の希望に合わせている。利用者はそれぞれ自分のペースを守っており、思い思いに自由に過ごしている。	※	職員の配置上難しい場面もあるができるだけ本人の意志を尊重した介護を行いたい。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 本人からの希望があったり必要と職員が判断したときは近くの美容室からカットの訪問をお願いしている。好みの理髪店へ送迎する利用者もいる。女性には化粧を勧めたり、男性はこまめに髭剃りを行っている。好みの衣服も利用者で選んでいる。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) できる方に協力してもらい楽しみながら準備し、積極的に片づけをしてくださる方もいる。 (外部評価) 職員は、利用者のできることを手伝ってもらいながら、一緒に食事の準備、後片付けなどしている。同じテーブルで会話を楽しみながら食事をし、サポートが必要な利用者には横に座り介助している。	※	残存能力を活かした楽しみなどできる工夫をしていきたい。
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 主治医に確認の上適量のお酒は許可している。	※	食事療法の必要な方もおられ満足はされてない部分もある。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排泄管理表を記入し排泄パターンを把握しトイレ誘導を行い不快感を減らし日中はオムツはずしに努めている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 夜間の入浴は職員配置上行っていないが、それ以外は本人の意向を取り入れている。 (外部評価) 利用者一人ひとりチェックし、2～3日に1回は入浴できるよう支援している。入浴を拒否する利用者には、言葉かけなどを工夫している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) できている。眠れない場合は日中の仮眠を促しているが、昼夜逆転は改善するよう医師に相談している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 買い物や、花の観賞カラオケなど気晴らしの支援を心がけている。 (外部評価) 利用者は、習字、ぬり絵、学習プリント、囲碁、卓球、編み物、ゲーム、カラオケを楽しんだり、職員と一緒に掃除をしたり、洗濯物を干したりたたんだりするなど役割を担っている。また、デイサービス利用者との交流やユニット毎の行事もある。	※	居してで過ごす時間が多い方にはホーム内での活動に参加していただくよう策を講じている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 数名は自分で管理されており外出時は支払われる。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 急な希望には応えられないが事前の申し出には希望に添えるよう計画を立てる。 (外部評価) 月1～2回は外に出かけられるよう行事を計画している。また、利用者の希望で車で買い物に出かけたり、天気の良い日には近くの公園に散歩に出かけている。	※	なるべく本人の希望に添った外出ができれば良いと思うが介護度のさまざまな中では難しい問題が多い。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 月2回程度の定期外出時は利用者の希望を聞きいれ計画に盛り込んでいる。	※	家族への参加も呼びかけているが参加者が少なく今後も根気強く誘っていきたい。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話は何時でも利用でき手紙は希望があればポストに入れるお手伝いをしている。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 面会時間は自由で居室でゆっくり話していただけるようお茶や椅子を準備する。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 正しい理解は薄いですが、拘束をしないケアは実践できている。	※	禁止の対象となる具体的な行為を確認し拘束しないケアに取り組む。必要時は家族協議し書類を作成する。
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 鍵をかけないケアに取り組んでいる。	※	今後も継続していく。
			(外部評価) 1階にはデイサービスセンターがあり、玄関は鍵をかけていない。玄関脇には事務所があり、出入りがよく見えるようになってきている。いつもではないが、利用者の安全を考えて2階の出入り口に鍵をかけることはある。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 定期的な巡回をしている。物音でもすぐに反応するよう心がけている。	※	徘徊には付き添ったり遠くから見守り安全に過ごせる配慮を行っている。
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 段差や解消や手摺設置で危険防止に努めている。	※	余り居室内の物をなくすことは無い。
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) マニュアルを見たり研修に参加し努力している。	※	緊急時に備えて個々が学んでいきたい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアルはあるが定期的に訓練はしていない。	※	年に数回は訓練を計画し適切な対応ができるように努めたい。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 地域の方をお願いをしている。	※	職員間の連絡も密にしていきたい。地域への協力も行っていきたい。
			(外部評価) 5月に消防署の協力を得て避難訓練を行い、年内にもう一度行う予定であるが、避難訓練が定期的に行われておらず、まだ地域との協力体制はできていない。緊急連絡網は整備している。	※	防災訓練は夜間も想定して定期的に行うことが望まれる。また、地域に災害時の協力を働きかけていくことを期待したい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 必要と判断した時分りやすく説明し不安を煽らない様心がけている。	※	話すタイミングが難しいが理解していただくように努めたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 職員からの報告に耳を傾け主治医への連絡は早めに行っている。	※	職員へ適切に伝え、介護記録へ気付きを記入するよう工夫している。
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 看護職が中心となり職員へ指導している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 下剤で調整したり食事指導、体操を行っている		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 食後の口腔ケアを励行している。	※	全員に浸透していないので指導していきたい。
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) できている。 (外部評価) 献立は本部の栄養士が作成したものを基にホームで工夫して立てており、利用者の希望で変更することもある。食事摂取量は記録し、水分量は配慮が必要な方は記録して把握し、必要な方には栄養指導も行っている。また、利用者に合わせて調理方法を工夫して刻み食やとろみ食にしている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルがあり実行している。	※	勉強会を定期的に行いたい。
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食材に日付をはり必要以上に買わないようにしている。	※	手洗いの励行熱湯消毒を心がけている。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関周囲に季節の花を置き明るい雰囲気を作っている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) リビングは南向きで日中も明るく、季節ごとに飾り付けをしている。 (外部評価) 元社員寮であったため廊下などはあまり広くないが、居間は各ユニット毎に家具やソファの位置も工夫して配置している。壁には季節を感じさせる飾り付けがされている。畳が置かれたユニットもあり、利用者はそれぞれ思い思いの場所で自由に過ごしている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファに座ってテレビが見れたり寛げるように家具の位置を工夫している。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 使い慣れたものを自由に持ち込んでもらっている。 (外部評価) 居室は元社員寮であったため流し台がそのまま残され、お湯も出るようになっており、冷蔵庫も設置されている。部屋の中には畳敷きの部屋も多くあり、家庭で使用していた家具やテレビ、好みの物等が持ち込まれている。個性に合わせた飾り付けもあり、過ごしやすように工夫されている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 気温、湿度、換気に気をつけている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 利用者の状態により安全に生活できるように気をつけている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 協力している。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 植木を育てたり自由に使っている。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	共同生活の場で我慢している部分もある。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	リビングで話す機会を見つけている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自由に過ごしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入浴やお出掛け時に感じる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	時間が作りにくい。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	看護職の配置、協力医療機関の対応。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者からの要望は少ない。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく (自己評価) ① ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	話す機会を多く持っている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	面会者は身内が多く限られている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	会議に定期的に参加者して下さる。
98	職員は、生き活きと働いている	1 ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) ③ 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	長期休暇が取りづらい。低賃金。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	我慢している部分もあるが、感謝の言葉を良く聴く。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	感謝の言葉が多い。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

協力入医療機関3番町ベテルクリニックの24時間対応があり健康面での安全と安心が得られます。看取り介護も行い馴染みの場所で馴染みの職員と過ごしていける場所です。近くには公園や中学校があり子供達の笑い声が聞こえてきます。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム すみれの家

(ユニット名) 花

記入者(管理者)
氏名 松田 和恵

評価完了日 平成 20 年 8 月 31 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 開設当初からすみれ会の理念があり目に付きやすいように各ユニットに掲示してある (外部評価) 開設当初からの理念を掲げているが、管理者及び職員は利用者が地域の中で暮らしていくことの大切さを理解しており、今の理念を具体的に分かりやすくするように職員全員で意見を出し合い、話し合っているところである。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 月に一度ユニット会議を開き、管理者と職員が話し合う場を作っている (外部評価) 職員も理念について理解しており、理念に沿ったケアに努めながら利用者の日々の暮らしを支えている。理念は各ユニットの入り口に掲示し、誰でも見ることができるようにしている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 家族に入所時に説明をしている。又、パンフレットにも記載し理解してもらえるよう努めている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 近所に入居者の方と散歩の時など挨拶をしたり玄関はいつも開放している		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 運動会や盆踊りなど地域活動に参加させてもらっている (外部評価) ホームは町内会に入会し、市民大清掃などに参加して地域の一員としての役割を担い、また運動会、盆踊り、祭りなど地域行事にも参加して交流を深めている。中学生の職場体験学習を受け入れており、利用者も楽しみにしている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議の中で少しずつ取り組むようにしているがまだ不十分である	※	職員全体が理解し参加できることを話し合い実行するよう努めたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価結果を元に職員が改善策を講じている (外部評価) 評価の意義は管理者及び職員とも理解してはいるが、自己評価については職員全員で取り組んでいるとまでは言えない。評価結果は全員に伝えており、話し合いを行い改善に取り組んでいる。また運営推進会議でも報告している。	※	評価を行うことは、現在のケアを振り返ることにつながる。またホームの質やサービスの向上のためにも自己評価を職員全員で取り組むことが望まれる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議の回数が少ないので不足気味である	※	運営推進会議の回数を増やしていきたい。会議の中での話し合いや意見を参加できなかった職員にも伝え、全員で取組みたい
			(外部評価) 運営推進会議が2か月に1回定期的に行われておらず、利用者及び家族や地域住民の参加人数も少ない傾向にある。会議内容はホームの行事報告が主となっており、活発な意見交換がされているとは言えない。	※	定期的開催し、利用者及び家族、地域住民などが多く参加できるように働きかけてより多くの意見が聞ける場とし、出された意見をサービスの質の向上に活かせるような取組みを期待したい。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) グループホーム連絡会に出席し、市包括センターの方や他のグループホームの方と交流を持っている		
			(外部評価) 分からないことなどを問い合わせたり、疑問点や利用者のことについて相談しており、情報提供も行うなど、連携に努めている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会や説明会には参加している。必要と思われる方には勧めているが、今は活用している利用者はいない		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 研修会などに参加し防止に努めている		

自己 評価	外部 評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約書を元に実施している		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 不満、苦情が出たらその都度職員間で話し合ったり、家族とも話し合う場を持っている		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月請求書発行時にユニット内より最近の様子や健康状態を詳しく伝えている (外部評価) 毎月の請求書と共に、担当の職員が利用者の日々の暮らしぶりを書き、ホーム便りと一緒に送っている。状態の変化や緊急時などは電話連絡することもある。金銭管理については家族の訪問時に報告したり、遠方の家族には郵送で報告している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情窓口を設けている (外部評価) 意見箱を設置しているが、意見は今のところない。家族の訪問時などに話を聞くよう心がけており、その時に出された意見は職員で話し合っている。重要事項説明書にホーム及び公的な苦情相談機関を明記している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 交流の機会はないが研修会などで他の施設の情報を得ている	※	他のグループホームなどに研修に行く機会があればいいと思う
			(外部評価) 同法人のグループホームとの交流があり、またグループホーム連絡協議会や地域包括支援センターのグループホーム交流会には参加している。他のグループホームから見学などに来たことはあるが、勉強会などの交流機会はない。	※	同業者との交流や連携はホームや職員の質の向上のためにも必要であり、積極的に学習会や研修会などの機会を作ることを期待したい。
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 各事業所、各ユニット毎に食事会などを催している		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 研修など各自積極的に参加、できるようにしている。毎日、日報に詳しく記載されておりそれを把握している		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入所前に本人や家族と、管理者や担当のユニット長が面会し希望を聞くようにしている		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入所前に本人と一緒に会ったり、見学に来てもらっている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入所時には十分な説明を行うと共に家族や本人の希望を聞くようにしている		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入所前に見学に来てもらい、ユニット内の雰囲気を見てもらったり、目的や必要性の説明を本人や家族にしている (外部評価) 本人が入居前にホームを見学するケースは少ないが、同法人のデイサービス利用からホームに入居することもある。また、病院や他施設から直接入居する場合にはホーム側から利用者を訪問したり、家族にホームの見学などしてもらっている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者の中には同世代の方もおり、同じ時代の話をしたり日常生活での知恵を教えてもらっている (外部評価) 職員は日々一緒に過ごす中で、利用者の得意な分野を教えてもらったり、学ぶことも多くあり、お互い支えあう関係作りに努めている。また、利用者に声をかけて手伝ってもらうこともあり、裁縫の得意な人には雑巾を縫ってもらうなどしている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時に希望を聞いたり最近の様子を伝えている	※	利用者の家族間での交流や話し合いの場を設けていきたい(アンケートは実施済み)

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族に面会に来られた時の本人の気持ちを伝え、面会だけではなく外出したり外食を家族と共に過ごせるよう努めている	※	利用者、ご家族、職員が共に過ごせる時間を作りたい
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 家族以外の知り合いの方でも面会ができるようにしたり(家族の了解を取る)長い間住んでいた家をドライブがてら訪ねたりしている		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士がコミュニケーションが取れるよう職員が間に入り関係作りに努めている		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院など長期間に及ぶ時は職員が面会に行き家族の相談にも応じている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 折を見て本人に希望を聞きそれに添えるよう努めているが発語が少なく職員本位になりがちである (外部評価) 日々の暮らしの中で本人に声をかけて話を聞いたり、家族からも情報を得て、一人ひとりについてカンファレンスなどで話し合っ把握するよう努めている。	※	家族の希望も聞きより近いケアを心がけたい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人や家族に確認したり入所前からの情報提供書など提出してもらっている		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 本人や家族に以前の生活状況を聞きそれに少しでも添えるようにし、主治医にも相談し把握するようにしている		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) ユニット会議で話し合い職員一人が利用者一人を責任を持って介護計画を立てている (外部評価) 本人に聞いたり、家族の訪問時に希望を出してもらい、職員の意見も採り入れて介護計画を作成している。介護計画は家族に説明を行い、遠方の家族には郵送して意見を聞いている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 三ヶ月に一度介護計画を立て、一ヶ月に一度毎に見直している。変化が生じた場合はその都度、医療機関や家族と相談しあっている (外部評価) 月1回カンファレンスを行い、評価もしている。定期的な見直しの他に、利用者の状態の変化に応じてその都度見直しを行い、新たな介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 介護記録に日々の様子やケアの実践など個別に記入している		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 事業所内にデイサービスがあり音楽療法に参加したり他の事業所で催し物（琴の演奏会、フラダンス）がある時は出掛けている (外部評価) 利用者がかかりつけ医を受診する際には職員が通院介助を行っている。また、デイサービスセンターの利用者と一緒に行事を行い交流することもある。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 運営推進会議に参加してもらったり事業所内にて防火訓練を行う折、指導、協力をしてもらっている。又、近所の中学生の職場体験の場を提供している		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 特にしていない		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議やグループホーム連絡会で会う機会もあり空室情報など連絡を取り合っている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入所前からのかかりつけ医に受診できるようになっているが、職員同行が難しく家族の協力が得られない方は家族やかかりつけ医の了解の上、当施設提携の病院での医療を受けられるようにしている <hr/> (外部評価) 協力医療機関の医師がかかりつけ医の利用者も多いが、本人及び家族の希望の医療機関を受診している。受診には職員が付き添っており、利用者の状態把握をしている。また月に2回、協力医療機関の医師が往診に来ている。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 必要に応じて専門の医療機関を受診している		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 職員の中に看護職の者がおり健康管理の相談をしている		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院中に面会に行ったり病院内でのカンファレンスに家族と共に参加させてもらい退院後の相談をしている		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 看取りの介護を目指し寝たきりになっても最後までケア出来るように職員間で共有している <hr/> (外部評価) 重度化や終末期に向けた指針を定めており、本人及び家族の希望があれば看取りを行う体制となっている。入居時に説明を行い、状態の変化に応じてその都度家族や医師等と話し合いを持ちながら対応している。まだ重度化や終末期のケアはホームとしては経験がないが、看取りを経験した看護師がホームにいるため、経験を活かせるよう体制を整えている。	※	早い時期(入院時) の話し合いは難しい 現時点では重度化や終末期の対応が必要ではない場合でも、本人及び家族、医療機関、職員などで話し合いを行い、対応方針の共有化を図ることを期待したい。また、職員の教育も望まれる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度化(寝たきり)になっている利用者は病院受診が不可能になり提携している病院の訪問診療時にドクターに相談している	※	もっと細かいところまで検討する必要がある。職員のターミナルケアの知識の向上が必要
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 急な環境の変化により状態が悪くならないようアセスメントを記入し、次の施設には情報を伝えている		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) ゆっくりと利用者の顔を見て声掛けし介護記録は常に職員が管理している		
			(外部評価) 職員の言葉かけや態度などは、その都度互いに注意しあっている。個人情報については職員の離職時や法人内の異動時にも他には漏らさないように取り決めている。記録は管理者の部屋においてあり、適切に管理している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者本人からの希望は発語が少ないのであまりないが職員からの問いかけにより身振り手振りで判断できる		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 時間的、人間的になかなか難しい時もあるがなるべく利用者のペースに職員が合わすようにしている (外部評価) 職員は本人にその日何をしたいか希望を聞いたり、本人の体調などにも配慮して支援している。入浴などでもできるだけ本人の希望に合わせている。利用者はそれぞれ自分のペースを守っており、思い思いに自由に過ごしている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 金銭的に余裕の無い利用者は美容師資格者の職員が本人の希望を聞き髪を切っている		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 各自持ち込まれている食器を使い食べれない物や苦手な食品は他の者と替えたりトロミ付きや刻み食にし食べやすくしている (外部評価) 職員は、利用者のできることを手伝ってもらいながら、一緒に食事の準備、後片付けなどしている。同じテーブルで会話を楽しみながら食事をし、サポートが必要な利用者には横に座り介助している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 家族の方が面会にこられおやつを持ち込まれると職員が預かり、少しづつ希望のある時に渡したり、たばこも一日の本数を本人と決め決められた場所で喫煙してもらっている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) トイレの声掛けをし排泄パターンを知り、その習慣に合わせてられるよう支援している		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) お湯の温度は利用者の希望に合わせている。又、お湯も一人ひとりその都度入れ替えている (外部評価) 利用者一人ひとりチェックし、2～3日に1回は入浴できるよう支援している。入浴を拒否する利用者には、言葉かけなどを工夫している。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 夜間よく眠れなかった時には日中でも横になり休むことが出来るよう準備している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 洗濯や掃除など得意なことなど能力に応じて役割を持ってもらっている (外部評価) 利用者は、習字、ぬり絵、学習プリント、囲碁、卓球、編み物、ゲーム、カラオケを楽しんだり、職員と一緒に掃除をしたり、洗濯物を干したりたたんだりするなど役割を担っている。また、デイサービス利用者との交流やユニット毎の行事もある。	※	長期入所により徐々に能力低下が見られるので状態に応じた役割を見つけ出したい

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人の金銭管理は難しいため、職員が預かり希望があれば職員と共に買い物に行っている		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 近所の公園やドライブに出掛けている (外部評価) 月1～2回は外に出かけられるよう行事を計画している。また、利用者の希望で車で買い物に出かけたり、天気の良い日には近くの公園に散歩に出かけている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 月に一度はユニット毎に出掛ける計画を立て利用者の希望も聞くようにしている		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人の希望があれば電話ができるような支援をしている		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 面会者があれば居室内にて過ごせるよう椅子やお茶を出しゆっくりしてもらっている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束をしない工夫をしている		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 出入り口がリビングより見えにくい位置にあり、徘徊が多く見られたり落ち着かない時はソファや物干しをドア半分の位置に置くようにし落ち着きを取り戻すと元に戻すようにしている (外部評価) 1階にはデイサービスセンターがあり、玄関は鍵をかけていない。玄関脇には事務所があり、出入りがよく見えるようになっている。いつもではないが、利用者の安全を考えて2階の出入り口に鍵をかけることはある。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 利用者の様子を常に把握するためにリビング以外の居室やトイレなど常に見守りや巡回を続けている	※	徘徊が多かったりお落ち着かない利用者にはスリッパやベッド柵に鈴をつけ職員が気付きやすくしている
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) カミソリは電気カミソリを使用してもらうようにしたり爪切り、ハサミ類は職員が預かり必要に応じて職員が見守りをして使用してもらう		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故報告書を出しユニット会議にて改善策を話し合っている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 事業所内では行ってはいないが研修や講習への参加は促している	※	事業所内にて定期的に行い多くの職員が参加できれば良い
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 避難訓練を行い、災害時の緊急連絡網も作成している	※	避難訓練の回数を増やし内容も充実したい
			(外部評価) 5月に消防署の協力を得て避難訓練を行い、年内にもう一度行う予定であるが、避難訓練が定期的に行われておらず、まだ地域との協力体制はできていない。緊急連絡網は整備している。	※	防災訓練は夜間も想定して定期的に行うことが望まれる。また、地域に災害時の協力を働きかけていくことを期待したい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 家族が面会に来られたら、その都度説明したり月一度請求書発行時に現在の様子を記載している		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 必要に応じてバイタルチェックを行い変化があれば申し送りを徹底している		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者一人ひとり薬服用カードを作りそのカードには効能など詳しく記入し確認しながら服用している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 事業所にてカスピ海ヨーグルトを作り、食事、間食に取り入れている。水分摂取で適度な運動を心がけている		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎朝、就寝前には洗面所にて職員が見守り声掛けし介助している。自分ですることが不可能な利用者にはデンタルリンスやスポンジを使い職員が口腔ケアを行っている	※	立位保持不可能な利用者のために車椅子ごと測れる体重計があれば良いと思う
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎回、食事量をチェックし不足気味な利用者には栄養補助飲料で補っている。又、体重測定を月に一度行っている (外部評価) 献立は本部の栄養士が作成したものを基にホームで工夫して立てており、利用者の希望で変更することもある。食事摂取量は記録し、水分量は配慮が必要な方は記録して把握し、必要な方には栄養指導も行っている。また、利用者に合わせて調理方法を工夫して刻み食やとろみ食にしている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症に対する対応のマニュアルがあり、講習や研修の機会があれば参加している		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 台所用品はハイター消毒を行い残りの食材の消費期限には気を付けている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関周りに花を植えたりデイサービスによる壁画や作品が飾られている		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 利用者が共用であるリビング内にて食事作りや配膳を行い食事が楽しめるようにしている (外部評価) 元社員寮であったため廊下などはあまり広くないが、居間は各ユニット毎に家具やソファの位置も工夫して配置している。壁には季節を感じさせる飾り付けがされている。畳が置かれたユニットもあり、利用者はそれぞれ思い思いの場所で自由に過ごしている。	※	リビングが狭く車椅子の移動が困難であるため机やソファの配置の工夫をしたい
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 食事やお茶を飲む時の場所が各自決まっておき自分の座布団を所用したり椅子の種類もそれぞれである		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 使い慣れた家具や寝具を持ち込んでもらっている (外部評価) 居室は元社員寮であったため流し台がそのまま残され、お湯も出るようになっており、冷蔵庫も設置されている。部屋の中は畳敷きの部屋も多くあり、家庭で使用していた家具やテレビ、好みの物等が持ち込まれている。個性に合わせた飾り付けもあり、過ごしやすいうように工夫されている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 常に気を配り換気に努めている。特に動く事に無理がある方は職員が度々訪室し温度調節をしている		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 各居室、畳敷きに布団を敷いたり、ベッド使用の方とそれぞれの使い方をして。必要な方は居室内に手摺も設置している		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 居室ないに混乱するような多量な荷物は片付け分りやすいように引き出しには名札を付けている		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 玄関周りには花を植えたり、畑には季節の野菜を収穫できるようにしている	※	畑の場所へ行くには段差があり歩行可能な方しか行くことができないので車椅子でもいけるようにしたい

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者の希望に添えるように努めている
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	一緒にお茶を飲み話をしたり近所をゆっくりと散歩する時間がある
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	殆んどの利用者が発語が少ないので満足しているか不明であるが笑顔が見られる
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員の声掛けに積極的に応じる方が殆んどだが中には疾患のため思うように支援できない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者からの希望は余り聞かれないが職員が促すと喜んで応じられる
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	医療機関の定期受診は家族にも協力してもらい行っている。月2回の訪問診療時には詳しく病状など説明し健康管理を行っている
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者からの要望は余り聞かれないが、日々の小さな要望には応じている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	(自己 ① ほぼ全ての家族と 評価) 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族の面会が少なく電話で話す方が多くなっているが家族からの介護に対する不満は聞かれない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 1 ほぼ毎日のように 評価) 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	長期間入所されていると段々減少してきている

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大に増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域の運動会や盆踊り会に参加させてもらい声掛けや挨拶をしてもらう事が増えた
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	慢性的に疲れが溜まっているが、長期休暇が取り難い
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	笑顔が見られ落ち着いた生活を過ごせている
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	度重なる苦情はない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

入所から長期になると介護度も高くなり状態も悪くなってくる。その後も施設内で過ごし続けられるように支援していきたい。